

令和6年度 5歳児 「運動会リレー」

(令和6年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

3歳児は、自分達の遊び場の横で5歳児がリレーをしている様子遊びながら目にきてくる。4歳になると、5歳児がするリレーを憧れて見たり、ただ見ているだけにとどまらず、旗を作って応援したり、時には自分も入りたいとって好きな遊びの中でのリレーに仲間入りしたりする子どももいる。また、4歳の園庭にコースを作ってリレーごっこを楽しんだり、コースを作り変えたり、距離を伸ばしたり、5歳児が運動会で走るコースを使ってクラス対抗リレーをしてみたりして繰り返し楽しんできている。また、走ることに限らず、ボールをたくさんついたり的に投げたり、縄跳びの前跳びや走り跳びをしたり、フープの数を増やして回したり何分回せるか計ってみたりするなど、遊具を使った技ができるようになりたいと思って何度も挑戦する姿も見られてきている。

5歳児になると、いよいよ運動会でリレーができることを楽しみにしている。4歳児や他のクラスの教師の応援も受け、自分達でより速く走れるように練習したり、一生懸命走っていない友達やいい加減なバトンの渡し方をしてくる友達を許さなかったりし、勝ち負けにこだわり、勝てるようにするにはどうしたらよいのかを考えてクラスの友達と一緒に心と力を合わせて取り組むようになっていく。また、ボールや縄、~~フープ~~フープではより難しい技に挑戦したり、さらにし慣れることでコツをつかんでスムーズに技を自分のものにしたりするようになっていく。そのような技の要素をリレーに取り入れることで、身体能力に左右されやすい走力だけで競うのではなく、技を磨くことで勝負できる活動の幅を広げ、より一層技の練習に励んだり、コツを考えたり伝え合ったり、走ること以外の友達の素敵などところに気付いたりすることができるようになる。さらに、子どもと相談しながら技やルールなどを取り入れることで、自分達で考えて遊びを作っていくことができるようになる。その過程で、条件を公平にするためにルールが必要なことを、ルールのある遊びを体験して学んでいき、必要なルールを決めていこうとしたり、必要があつて納得して決めたルールを進んで守ろうとするようになったりしていく。また、条件を公平にするために人数を揃えることが必要になり、自分達の生活の中で必然的に数・量に関する学びも期待することができる。

繰り返し取り組む中で、1回でも勝つ喜びが味わえるように、諦めずに取り組もうとする子どもの気持ちを支えていきたい。そのためには、走ることが速くなったり、技が上達したりしてきていることや自分の頑張りを自覚できるように、以前との変化やそれに向けた努力の姿を具体的に知らせながら、さらに練習しようと思えるように、そして、その気持ちがクラスの子どもの中に広がり、一緒にみんなで頑張ろうと思えるように気持ちを盛り上げていきたい。

3. ねらい

- ① 前よりも速く走れるようになりたい、難しい技に挑戦してできるようになりたい、ボールや縄、フープの技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたいなど、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。
- ② 前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープの技が上達したなど、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったこと、自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができたようになったりしたことを感じて自信をもつ。
- ③ 自分で振り返ったり、先生や友達に自分の頑張りを言葉にってもらったりすることで、上達するため、勝つために走ることや技を何度も試したり、もっと上手になりたいと思ったり、技がうまくいかなかった時や負けた時に悔しさを感じる自分に気付いたり、認めたりしようとする。

自ら決める・選ぶ
問題を認識する

自分に満足する
自分を客観的に把握する

自分のことを知る

- ④ 友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりする。 他者という喜びを感じる
- ⑤ 友達の頑張りや工夫、素敵なところに気付いたり認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったり、認めたりしようとする。 他者のことを知る
- ⑥ 勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に練習したり、応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりする。 人と物事を進める
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑦ 皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数やコースの内容使用する道具、技の回数などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようとする。 人と物事を進める
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑧ 友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようしたり、声を掛け合って集まろうとしたり、やり方を考えたり確認したりして、決めた役割を責任もってしようとする。 人と物事を進める
- ⑨ 力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、縄を回すのが足元に来るタイミングに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールを使ったりや縄、フープを使ったりすることで感じる様々な感覚を感じる。 身体を操作する
- ⑩ どのようにしたら速く走れたり、上手くボールが突けたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするのかを考え、コースを走ったり、ボールの突き方や縄の回し方や跳び方、フープを回す際の体の動かし方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりフープを回したりするのが得意な友達の動きを見たりして、コツをつかんだり体で覚えたりしようとする。 身体を操作する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑪ ボールが突く場所や突き方、ボールの種類によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わること、コーンは離れても見やすいことなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。 事物・現象を捉える
- ⑫ チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで比べたり、差を感じたり、人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。 数・量を捉える
比較する
- ⑬ 競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。 数・量を捉える
- ⑭ 隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置けているか確認したり、距離が近かったり離れたりにしていることを感じて置く位置を調節したり走っている相手チームと自分のチームが離れている距離を見て戦況を感じたりする。 空間を捉える
問題を認識する
実行し、その結果を基に判断を下す
- ⑮ 走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待つ場所を設定したりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。 場や状況を整える
問題を認識する
実行し、その結果を基に判断を下す
- ⑯ 公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり、他の道具や技をする回数とも比べながら考えたり試してみたり技や回数を変えたりする。 面白さを生み出す
問題を認識する
比較する
実行し、その結果を基に判断を下す

4. 展開

リレーをすることを楽しみにしたり、リレーを楽しんだりする	A【リレーをする】 ・コースを走る ・勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする ・速く走れるように何度も走ったり、友達と競争したりする ・ボールや縄、フープの技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取り入れたりする	B【チームやコースを決めたり、必要なルールを考えたりする】 ・チーム分けの方法を考えたり決めたりする ・走る順番を決める ・必要なルールを考えたり決めたりする ・より面白く公平になるように、使用する道具やそれぞれの技の回数コースを考えたり試したりして決める ・必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする
より速く走ったり上達したりするように何度も挑戦したりコツを考えたり、自分達のチームが勝てることを願って作戦を考えたり、より面白くなるようにコースを考えたりする	・速く走れるように走り方を考えたり教え合ったりやって見せたり取り入れたりする ・対決することを楽しむ ・勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする	C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】 ・自分のしたい準備や片付けをする。(コーンを並べる、ボールや縄、フープを置く、片付ける) ・自分の担当を決める ・準備や片付けの役割を果たす

A【リレーをする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・コースを走る ・勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする ・速く走れるように何度も走ったり、友達と競争したりする ・ボールや縄、フープの技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取り入れたりする ・速く走れるように走り方を考えたり	○前よりも速く走れるようにしたい、ボールや縄、フープの技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたいなど、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。 ① ○前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープの技が上達したなど、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったりしたことに満足する。 ② ○上達するため、勝つために走ることや技を何度も試したり、もっと上手になりたいと思ったり、技がうまいかなかった時や負けた時に悔しさを感じる自分	◎一人一人の子どもが、具体的な目標を意識できるように、勝負に挑む気持ちを尋ねるなどして勝ちたい気持ちを盛り上げ、勝つためにはどうすればよいか、自分はどのようにしたいかを尋ねる。 ◎繰り返し練習することを楽しくめるように、教師も一緒に走ったり技に挑戦したり、練習する姿を応援したりする。 ◎最後まで全力で取り組もうと思えるように、応援したり励ましたり、目標を振り返る声をかけたりする。 ◎自分の目標に向けて頑張ったことに満足するきるように、以前と比べて、速く走れたり、一人一人の子どもが上手く突けたり跳べたり回せたりする、そうなるために工夫したり意識したり努力したりしていることを具体的に言葉にする褒める。また、自分で頑張ったと思っているところを聞いて受け止める。 ◎頑張った自分に気付いたり認めたりしようと思えるように、教師が感じた子どもの頑張りのや上達するまでの過程を言葉にしたり、上達した時や悔しい時などに気持ちを尋ねたりする。

教え合ったりやってみせたり取り入れたりする ・対決することを楽しむ ・勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする	に気付いたり、認めたりしようとする。③ ○友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりする。②④ ○友達の頑張りや工夫、素敵なところに気付いたり認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったり認めたりしようとする。④⑤ ○勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に練習したり、応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりする。⑤⑥ ○力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、縄を回すタイミングに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールを使ったり縄を使ったりすることで感じる様々な感覚を感じる。⑧⑨ ○どのようにしたら速く走れたり、上手くボールが突けたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするかを考え、コースを走ったり、ボールの突き方を変えたり、縄の回し方や跳び方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりするのが得意な友達の動きを見たり	◎友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じられるように、一緒に練習したり応援してくれたり教えてくれたりする友達の存在について触れたり、友達がいる嬉しさを言葉にしたり、支え合う心地よさを言葉にして一緒に喜んだりする。 ◎クラスの友達みんなと勝つ喜びを味わえるように、勝てた時には一緒に喜んだり、負けた時には悔しい気持ちに共感したり、次に勝てるよう励ましたりする。 ◎友達の頑張りや工夫、素敵なところ、気持ちや考えに気付いたり認めたり、その気持ちになった理由を考えたり知ったりしようとするように、友達の頑張っている姿や話していることを紹介したりそれを見聞きする場や時間を作ったりする。 ◎勝負に勝つためにみんなが一緒に取り組めるように、勝つために自分が考えていることやコツを教えている姿に感心したりを褒めたり他児に紹介したり、伝え合う時間をもったりする。 ◎みんなで勝とうと心を合わせて取り組めるように、一緒に走って練習したり頑張っている友達を応援したりするよさを伝えたり、どんな作戦にするか投げかけたりする。 *力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚などを感じられるように、十分に走る距離を確保したり、90度以上のカーブを設定したりしてコースを用意する。 *手で続けてボールを受けて突き出す感覚や縄を回すのに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚などを感じられるように、ボールをついたり縄を回して跳んだりフープを回したりすることを子どもと試しながらコースに設定したり、何度も挑戦する機会を設けたりする。 ◎よい考えた方法をいろいろ試してその違いを感じられるように、コーナーを走る時に感じることを尋ねたり、どうすれば走りやすいか感じたり考えたりしていることを尋ねたり、友達の考えを聞かせたりする。 ◎速く走ったりボールを突いたり縄を跳んだりフープを回したりするためのコツを感じたり、体で覚えたりするように、友達が感じたコツを尋ねたり、コツを意識している様子を見せたりする。 *動きのコツを試したり、感じながら何度も練習したりできるように、クラスでの試す時間もと
--	---	--

	して、コツをつかんだり体で覚えたりしようとする。⑩ ⑩ ○ボールを突く場所や突き方、ボールの種類によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わることなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。⑩⑪ ○競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。⑫⑬ ○走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待ち場所を設定したりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。⑭⑮	る。 ○ボールの突く場所や突き方による弾み方の違いを感じられるように、芝生や土、マットなど、異なる場をコース上に設定したり、突き方を言葉にしたり突き方を変えることを提案したり、突き方やボールの種類それによる違いを尋ねたりする。 ○縄やフープの回す速さや回し方によって様子が変わることを感じられるように、回す速さや回し方の違いや教師が感じた縄の様子を言葉にしたり、他児が回している姿を紹介して一緒に見たりする。 ○友達の走る速さを感じられるように、友達の走る様子を見る機会を設けたり、速さや距離の変化について尋ねたり、教師が感じたことを言葉にしたりする。 ○必要に応じて遊びをしやすくするためにがしやすいうように場を整えようとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。
--	--	---

B【チームやコースを決めたり、必要なルールを考えたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・チーム分けの方法を考えたり決めたりする ・走る順番を決める ・必要なルールを考えたり決めたりする ・り面白く公平になるように、使用する道具やそれぞれの技の回数コースを考えたり試したりして決める ①	○難しい技に挑戦してできるようにになりたいと思い、技を選んだり、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。① ○皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数やコースの内容使用する道具や技の回数などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようとする。④⑦	◎難しい技に挑戦してできるようになりたいと思えるように、どんな思いで技を選んだのかやどんな自分を見せる場にしたいのかを尋ねたり、今は難しくても何度も練習することによってできるようになることを言葉にしたり励ましたりする。 *必要を感じて友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようと思えるするように、おかしいと思ったことを出し合い、いろいろな考えを聞いたり、考えたことを実際にやってみたりして、みんなが納得する解決方法を見付けたことを一緒に喜び、みんなが納得する解決方法を見付け出すよさを感じられる機会を設ける。 ◎皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数や使用する道具や技の回数などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようと思えるように、使用したい道具ごとに技の回数を話し合うよう伝えたり、他の道具を使用する子ども達とも

り面白く公平なコースを考えたり試したりして決める 必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする	○チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで比べたり、差を感じたり、人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。 ㉔㉕ ○公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり、他の道具や技をする回数とも比べながら考えたり試してみたり技や回数を変えたりする。㉖	話し合う機会を設けたりする。 ◎遊びの必要から数を数えたり揃えたり差を感じたり足りない人数を埋めたりして調整しようとするように、人数が違うことで勝負の結果が左右される状況を見守ったり、子ども達が数えたり揃えたりするために考えていることを尋ねたり、していることを言葉にしたり、一緒にしてみたりする。 ○公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり比べたり試したりしようと思えるように、したいと思っている技やその回数にしたい理由を尋ねたり、やってみて面白くなったか振り返る機会を設けたりする。
---	--	---

C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 自分のしたい準備や片付けをする。 (コーンを並べる、片付ける、ボールや縄、フープを置く) - 自分の担当を決める - 準備や片付けの役割を果たす	○自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ② ○友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができるところをしようしたり、声を掛け合ったりやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようとする⑦⑧ ○コーンは離れても見やすいことなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。㉔㉕ ○隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置いているか確認したり、距離が近かったり離れたりにしていることを感じて置く位置を調節したり走っている相手チームと自分のチームが離れている距離を見て戦況を感じたりする。㉓㉔ ○並んだり走ったりする位置が分かりやすいようにコーンを置くなど、必要に応じて遊びがし	◎できるようになったことを自覚して自信をもてるように、自分達で準備や片付けを進めてきたことや、難しさを感じていたことができるようになっていたことを言葉にしたり一緒に喜んだりする。 ◎自分達で競技の準備や片付けをするために、できることを見付けてしようとしたり、決めた役割を責任をもってしようとしたりするように、役割を決める際に必要を感じていたり納得したりしているか確かめたり、最後まで責任をもってやっている姿をみんなで応援しながら待ちたり、役割を思い出せるように掲示しておいたりする。 ◎道具の特徴や様子の変化を感じられるように、道具を使ってみてどうか尋ねたり、扱いに慣れている友達の姿を紹介して様子の違いを尋ねたり、一緒に気付きを出し合ったりする。 ◎隣との距離や等間隔になることを意識してコーンを置いたり、置く位置を調整したりするよう、目印になるコーンの位置を決めたり、少し離れて間隔を見ることを勧めたり、どのくらいの距離なのか歩幅で確認してみせたりする。 *必要に応じて場を整えられるように、複数の大きさや色のコーンや縄などをいつでも持ち出せる場所に置いておく。 ◎必要に応じて遊びがしやすいように場を整えよ

	やすいように場を整えようとする。1415	うとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。
--	--	---